

おはようございます。現在、7時45分。天候は雪。寒いです。

コロナ禍となり、コロナ前以上に悩ましい判断を求められる場面が増えたように思います。例えば、マスクの着脱が個人の判断に委ねられるように。本当に、判断をする際の「考え方」の重要性を痛感する日々です。そこで、ものの見方や知恵を授かりたいと、稲盛和夫氏の著「考え方」を拝読しています。稲盛氏は、プラスの考え方とは、プリミティブな倫理観そのものであり、世界のどこでも通用する普遍的なものばかりと述べられ、次のように「考え方」のプラスとマイナスを伝えておられます。

◆プラスの「考え方」

- ・常に前向きで、肯定的、建設的である。
- ・皆と一緒に仕事をしようとする協調性を持っている。
- ・真面目で、正直で、謙虚で、努力家である。
- ・利己的ではなく、「足る」を知り、感謝の心を持っている。
- ・善意に満ち、思いやりがあって優しい。

◆マイナスの「考え方」

- ・後ろ向きで、否定的、非協力的である。
- ・暗く、悪意に満ちて、意地が悪く、他人を陥れようとする。
- ・不真面目で、嘘つきで、傲慢で、怠け者。
- ・利己的で強欲、不平不満ばかり。
- ・自分の非を棚にあげて、人を恨み、人を妬む。

反省をしながら、プラスの考え方が少しでも多く出来るように、自問を続けたいです。